２　歳　　出

⑴　歳出の状況

当年度の歳出決算額は 82,217,170千円で、予算現額101,503,279千円に対して

執行率は81.0％(前年度78.5％)となっている。

支出済額は前年度に比べ10,581,726千円(14.8％)増加している。

これは主に、議会費で18,793千円(△3.6％)、労働費で13,467千円(△5.8％)、

公債費で208,149千円(△2.2％)減少したものの、総務費で2,288,332千円(38.7％)、

土木費で3,210,250千円(23.4％)、教育費2,275,049千円(30.2％)とそれぞれ増加

したことによるものである。

一般会計歳出款別構成状況　　　　　　　（単位：％）

平成25年度歳出決算額　82,217,170千円

※　(　)内は、24年度数値

一　般　会　計　歳　出



当年度の各款の支出済額にかかる対前年度増減についての主な要因は、次のとおりで

ある。

　総務費の増加の主な要因は、合併地域振興基金積立金や住民基本台帳事務費で減少が

あったものの、新たに、まちづくり基金積立金が増加したことに加え、並行在来線対策

事業費、戸出・伏木地区コミュニティ施設整備費で増加したことなどによるものである。

土木費の増加の主な要因は、北陸自動車道新ＩＣ整備事業費、交通安全施設整備事業費、北陸新幹線対策事業費、高岡駅周辺地区整備事業費、戸出西部市営住宅建替事業費などで増加したことによるものである。

　教育費の増加の主な要因は、事業完了に伴い福岡小学校改築事業費、西条公民館建設

事業費が減少したものの、学校施設耐震化事業費、(仮称)高岡市市民交流スポーツ広場

整備事業費、グラウンドゴルフ場整備事業費、高岡西部総合公園整備事業費などで増加

したことなどによるものである。

款　別　決　算　状　況

（単位：千円・％）



議会費の減少の主な要因は、議員共済給付費負担金の負担率が引き下げられたことに

より、負担金が減少したことによるものである。

労働費の減少の主な要因は、雇用創出人材育成支援事業費（緊急雇用）の減少などに

よるものである。

公債費の減少の主な要因は、長期債の元金償還及び利子償還の減少があったことなどによるものである。

一　般　会　計　歳　出　款　別



・　節　別　一　覧　表

（単位：千円・％）

（注）繰出金の内訳は、特別会計への繰出金5,559,677千円及び土地開発基金への繰出金12千円である。

⑵　繰出金の状況

特別会計への繰出金は、国民健康保険事業会計などの７事業会計に対して

5,559,677千円を繰り出しており、前年度に比べ64,615千円(1.2％)増加して

いる。

これは主に、工業団地造成事業会計で32,923千円(△51.3％)、駐車場

事業会計で18,258千円(△7.2％)とそれぞれ減少したものの、下水道事業会計で

73,469千円（4.9％）、介護保険事業会計で42,323千円(2.0％)とそれぞれ

増加したことによるものである。

一般会計から特別会計への繰出金

（単位：千円・％）

